

【専門教育科目/看護の展開/精神看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神看護学概論		必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
石野 徳子	415	t.ishino	火・木曜日 16:00～17:30		
授業の目的・概要	平成26年度より、精神疾患は「5大疾患」の1位を占めるに至り、精神看護の対象者は増加している。本概論では、精神看護の対象を理解し、それに対する対応を理解することや、わが国における精神医療の歴史、精神看護に関わる法律の変遷と倫理などについて理解することを目的とする。授業の概要として、精神看護の定義、人生各期における発達理論や危機、精神医療の歴史の変遷などについて講義する。また、現在社会における精神保健上の諸問題について、同時双方向型授業による遠隔授業を通し実施する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	各自が受講した内容を振り返り、理解を深めると共に、不十分な点については、その都度、質問すること。また、各自が与えられた課題について、教科書、参考文献などを活用し組むことが望ましい。				
教科書	・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎/著:武井麻子/医学書院/2020 第5版 ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開/著:武井麻子/医学書院/2020 第5版 [2冊指定]				
参考書	ナーシング・グラフィカ 精神看護学①情緒発達と看護の基本/出口禎子編集/メディカ出版/2017				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	精神看護の対象について説明できる。		HSU (3)、(4)、NS (3)		
②	人生各期における発達段階、危機について説明できる。		HSU (3)、(4)、NS (1)、(4)		
③	生活の場における精神保健上の問題の背景、要因について考えをまとめることができる。		HSU (3)、(4)、NS (1)、(4)		
④	精神医療の歴史の変遷を踏まえ、我が国の精神障害者の処遇について説明できる。		HSU (3)、(4)、NS (1)、(4)		
⑤	精神保健福祉法など精神看護の基本となる法律について説明できる。		HSU (3)、(4)、NS (1)、(4)		
⑥	生活を支えるための法律と制度について説明できる。		HSU (3)、(4)、NS (1)、(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	ガイダンス、精神看護の対象、精神看護学の基本的な考え方、日本の精神科医療の現状等について学習する。	講義	予習:教科書①p9～15 を読んでおくこと。	4	
2	エリクソンの漸成の発達理論について学習をする。	講義	予習:教科書①p73～78 を読んでおくこと 課題①:人間の発達段階の中で、関心のある発達段階について述べる。	4	
3	フロイトの精神力動理論について学習する。	講義	予習:教科書①p78～87 を読んでおくこと	4	
4	ストレス、精神保健上における「危機」について学習する。	講義	予習:教科書①p38～51 を読んでおくこと。 小テスト:次回講義前	4	
5	家庭・学校・職場における精神保健上の問題について学習する。課題レポートについて、講義時間内にフィードバックする。	講義・ディカッション	精神保健上の問題の中から、学生の関心の高い問題についてのディカッションを行う。課題②精神保健上の課題についてまとめる。	4	
6	日本における精神医療の歴史の変遷、人権擁護に関する動きなどに関連する内容について学習する。	講義	予習:教科書①p293～304 を読んでおくこと。課題③:日本の精神医療の歴史の変遷の中から関心のある内容を述べる。小テストの実施:次回講義前	4	
7	精神保健福祉法における入院形態、障害者の生活を支えるための法律と制度など、精神障害者に関連する法律などについて学習する。	講義	予習:教科書①p315～345 を読んでおくこと。 小テスト:次回講義前	4	
8	7回目までの講義を振り返り、ディカッションを行う。	ディカッション	課題④:ディスカッションを通し学んだこと気づいたことをまとめる。	2	
試	定期試験は実施しない 達成度評価・評価のポイント参照				

【専門教育科目/看護の展開/精神看護学】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	10	10	0	0	20	100
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	5	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	5	0	0	0	5	10
	問題を発見・解決する力	5	20	0	0	0	25
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①		定期試験は実施しないが、講義に対する理解度を確認するための、小テストを3回実施する。 なお、小テストの結果を評価に含む。	必要に応じて結果のフィードバックと解説をおこなう。			
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①	✓	講義の際に、課題レポートのテーマについて説明する。記載内容については、テーマに添った内容が記載されているか。決められた文字数を守っているか。誤字・脱字、参考文献の使用の有無、などをふまえて評価する。なお、これらの注意点については、レポート課題に取り組みにあたり、事前に説明する。	各自から提出されたレポートの内容を確認し、気づいた点について、その都度、講義の際に説明する。必要に応じて、個人に指導する。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	ディカッションに向けて、自分の意見を述べられているか。他者の意見に対する自分の考えや意見を述べているかなどを評価する。	発言されて意見を尊重するが、解釈が誤っている場合には、指導する。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
他担当教員							
教員の実務経験	看護師・看護管理者として30年間の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	これまで培った臨床経験を講義の場で活かすように、事例を取り入れることや臨床で経験したことなどを伝え、学生がよりリアリティを感じ理解を深められるように工夫しながら講義を行う						
その他	・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業に参加を認めません。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある。						